

片岡製作所社長

西 則男氏



「世界的に電気自動車（EV）関連の計画見直しが目立ちます。」

「少し踊り場かもしれないが、全く懸念していない。二次電池検査システムの売り上げは

予定通り好調で受注も非常に旺盛だ。日本の自動車メーカーや電池メーカーは堅実に開発を行

っている、当社は少し先までの引き合いを頂いている。電池は作るのが難しく、品質、安全性などは、日本などの以前からの電池メーカーが強い」

「レーザー加工システム事業も堅調です。」

「半導体や電子部品業界向けで超精密穴開け装置が好調。次世代太陽電池のペロブスカイト

太陽電池向けレーザーパターンニング装置も期待できる。2029年1月期までの5カ年計画で

売上高300億円（24年1月期比約3・6倍）を目指し、二次電池検査システムと、レーザー

技術・開発・研究でシナジー

加工システムの両装置がけん引役となる。新本社・研究開発センター（京都市南区）は25年7月に完成予定。その後、第二レーザー工場に着工し、第三レーザー工場も計画している」

「拠点新設にあたって過去を紐解くと、開発速度は昔の方が速く、売り上げにつながっていた。単純比較できないが、アカデミックな研究に寄り過ぎるところが今はある。新しい研究開発センターで技術者を増強し、技術・開発・研究が一体となった活発なコミュニケーションでシナジーを狙う」